

# 第3学年 社会科学習指導案

日 時 平成27年10月29日（木）公開授業Ⅰ

児 童 3年4組 男子15名 女子18名 計33名

指導者 田村 美恵子

1 単元名 働く人とわたしたちの暮らし

2 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領[第3学年及び第4学年]の内容(2)は、「ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」「イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」である。

本単元では、地域の人々の販売や生産の仕事の様子について視点を明確にして見学し、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする力をつける。さらにそれらの仕事に携わっている人々の工夫について理解し、自分たちの生活との関わりを考えることができるようにする。

(2) 児童について

子ども達の社会科に対する意欲は高く、実際に学区の道路を歩いて調べたり地図に表したりする活動を通して、学区の特徴について概ね捉えることができている。しかし、見学活動や資料を通じて考える力はまだ十分とはいえない。本単元では、自分の地域に販売に関する仕事があり、自分たちの生活と結びついていることや、様々な工夫や努力をしていること、また仕入れている商品が、様々な面で国内外と結びついていることを考えさせていく。

(3) 指導にあたって

小単元1「工場働く人の仕事」及び小単元2「店で働く人の仕事」では、様々な工夫を見つけることを視点として、牛乳工場やスーパーマーケットの見学を行い、販売や生産の仕事の様子から学習課題を見出させる。その後、調べたことを交流したり関係する資料を読み取ったりすることで課題を解決する。さらに、それらの仕事に携わっている人々の工夫や自分たちの生活との関わりについて考えさせ、それぞれの考えを交流させたい。

工場や店の見学については、見学することによって「さらに知りたい、調べたい」という課題をもつことができるように、しっかりと見通しをもって活動させたい。牛乳工場見学では「安全でおいしい牛乳をつくるための工夫」を、スーパーマーケットでは「お客さんが買い物をしやすくするための工夫」を視点として見学することで、なぜそのような工夫をするのかを課題として学習を進めていく。

単元のまとめでは、販売や生産の仕事の工夫を伝えるちらしづくりを行い、本単元の学習を振り返る活動とする。

3 単元の目標

- 地域の人々の販売や生産の仕事の様子に関心をもち、それを意欲的に調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- 地域の販売や生産に携わる人々の仕事の工夫について考えさせ、それらの仕事で自分たちの生活を支えていることに気づくことができる。 【思考・判断】
- 地域の人々の販売や生産の仕事の様子を的確に見学し、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりすることができる。 【資料活用の技能】
- 地域の販売や生産に関する仕事について調べ、その仕事の特色や他地域との関わりについて理解することができる。 【知識・理解】

4 指導計画（働く人とわたしたちの暮らし：27時間扱い 本時21/27）

次	時間	学 習 活 動
一	1	身近にある販売や生産の仕事に関心をもち、調べる意欲をもつ。
二	10	工場働く人と仕事について考える。
三	14	店で働く人の仕事について考える。（本時 第10時）
四	2	ちらしをつくって、仕事の工夫を伝える。

## 5 本時の指導について

### (1) 目標

スーパーマーケットで販売されている商品が、国内外の他地域から運ばれてきていることを理解することができる。

### (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手だて
知識・理解	身近な滝沢市で売られている商品が、国内外と関わりがあることを理解している。	売り場の写真やスーパーマーケットのちらしを見て産地を調べ、地名や国名に着目させる。

### (3) 指導の構想

見通す活動として、スーパーマーケットを見学したときの写真を提示し、たくさんの種類の商品があったことを想起し、興味関心を喚起する。それぞれの商品がどこから運ばれてくるのかを調べる活動が課題であることを把握する。終末では、振り返る活動として、店が商品の仕入れを通じて、国内外や他地域と関わっていることに着目させ、友達の意見を取り入れながら比較し、学びを広げたり深めたりできるように、振り返りに取り組ませる。

### (4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法） ☆見通す・振り返る活動
導入 5分	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の課題を把握する。	全	○見学した商品の話題から、様々な種類の商品があることを再確認し、調べることに興味関心をもてるようにする。
	店で売られている商品は、どこから運ばれてくるのだろう。		
展開 30分	3. 商品を確認しそれがどこから仕入れられているか、予想をたてる。 4. 産地の調べ方について話し合わせる。 5. 産地について調べる。 6. 産地について二つの視点で整理する。(国内・国外)	個 ペア 個 全	○導入部分で出された商品について、仕入れ先を予想させる。 ☆売り場の写真やスーパーマーケットのちらし・教科書を見て調べることができることをおさえる。 ○商品の表示の見方について確認する。 ○自分たちが住む地域と産地をつなぐ他地域とのつながりを、地図を使って視覚的にとらえやすいようにする。 ●【知識・理解】 スーパーマーケットで販売されている商品が国内外の他地域から運ばれてきていることを、ワークシートにまとめる活動を通して理解している。 (ワークシート、発言) ○他の品物についても、外国から仕入れられているものがあることに気付かせる。
終末 10分	7. 本時のまとめをする。 8. 本時の振り返りをする。	個 全	☆スーパーマーケットのさまざまな品物が、さまざまな地域から仕入れられていることを調べて、分かったことをもとにまとめられるようにする。
	国内や外国のさまざまなさん地から商品が運ばれてきている。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな商品は、さまざまなさん地から運ばれてきていて、外国から来る商品も多いことが分かった。</li> <li>・もっとたくさんの商品についてのさん地を調べたい。</li> </ul>		